

連載

- 10 世界のキーパーソン
- 11 国内人情報
- 27 Book Reviewing Globe
- 40 追想 バレレンの世紀―渡辺京二
- 51 西風
- 59 交差点―読者の声・編集者の声

社会・文化



総売り上げ9000億円から、総務官僚の天下り団体が多額を中間搾取する構図。庶民の夢を弄び、銀行やメディアと結託して自治体振興の貴重な財源を喰い物にする役人に、自浄能力はない。即刻廃止すべきだ。(110頁)

- 98 社会・文化●情報カプセル
- 100 悪徳最高裁判事の企業天下り事情―冤罪担当者が大企業で高禄を食む
- 102 江戸学への招待―時代小説をより深く楽しむために
- 104 アラスカ三山「冬物語」―冷酷で容赦なき自然の魅力
- 106 東北で広がる「被災者間格差」―復興支援策からこぼれ落ちる不幸
- 108 瀬戸際に立つ「米ボクシング界」―長すぎるヘビー級低迷―日本のサンクチュアリ●シリーズ 48
- 110 「宝くじ」の間―総務官僚が公然とピンハネ

- 88 皇室の風―岩井克己
- 90 日本の科学アラカルト
- 92 続不養生のすすめ―柴田博
- 94 本に遇う―河谷史夫
- 96 不運の名選手たち―中村計
- 114 マスコミ業界ばなし

経済

- 60 高まる「日本株再評価」の機運―買いに群がるヘッジファンド
- 62 日本が独走「最先端石炭火力発電」―世界を制する数少ない有罪技術
- 64 トヨタ章男に「早期退任」のすすめ―戦略なき経営者に「失格」の烙印
- 67 連載「クローズアップ」米倉弘昌（日本経済団体連合会会長）―五月末に期目の任期が満了
- 68 日本自動車産業も「落日」の危機―戦略の失敗で優位性失う
- 70 「前途多難」小売り各社のインド進出―イオンやセブンに勝算なし
- 72 東電「火力発電所売却」の舞台裏―経産省との蜜月関係に微妙な亀裂
- 74 経済●情報カプセル
- 78 連載「企業研究」日本生命保険―座して死を待つガリバー
- 82 中央三井信託の営業に「用心」―メガ信託の先行きに暗雲
- 84 巨大な「不良資産」にもがくNTT―「組織再編論」が再び組上り
- 86 原発にのめり込む日立製作所―東工大を「原子力村」の拠点に

本業のジリ貧傾向に歯止めがかからず、保険総契約高は毎年6~7%ずつ減少。新興市場の開拓も完全に及び腰で、過去の資産を食い潰すばかり。「ザ・生保」の称号も今や過去の栄光。屋台骨の腐食が進む。(78頁)



政治



次の代表選での無投票再選は、目が消えた。野田の生き残り策は消費税法案と絡めた「6月解散」のみ。選挙後に公明党を抱き込み、自民党の一部を合流させる政界再編を思い描くが、果たして皮算用通りとなるか。(48頁)

- 42 連載「土着権力の研究」宮崎県
- 44 政治●情報カプセル
- 46 度し難き国交省の「省益確保」―官僚主導復活で「我が世の春」
- 48 動きだした「六月解散・政界再編」―野田「延命」の唯一のシナリオ
- 52 連載「政界スキヤン」改憲に不熱心な民主党
- 54 無駄の温床となる「復興庁」―出鱈目な「便乗予算」が横行
- 56 皇室典範改正「野田は本気か」―女性宮家創設「スズキ山積」
- 58 連載「罪深きはこの官僚」新原浩朗（経産省資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部長）―「再生エネ法」潰しの手謀者

WORLD

- 3 連載「巻頭インタビュー」園部逸夫―皇室の存続こそが第一●特別レポート
- 6 「金正日死去」と米中露―世界を覆う「反独裁体制」の波
- 12 米共和党「大統領候補」劣化の理由―狭量な保守派支持層に問題あり
- 14 「米国離れ」進む中南米諸国―新共同体設立に中露の「秋波」
- 16 独仏が目論む「欧州合衆国」構想―弱小国の「保護国化」は不可避
- 18 WORLD●情報カプセル
- 22 躍進トルコの二人の「立役者」―盟友であり敵でもある「首相と大統領」
- 24 サウジは大丈夫か―高まる社会不安と王家の諍い
- 28 パキスタン政権は「崩壊」へ秒読み―「静かなる軍事クーデター」が進行
- 30 プーチン「個人蓄財疑惑」の窮地―汚職まみれ「錬金術」のカラクリ
- 32 好調インドネシアの「落とし穴」―広がる反中感情は日本の好機か？
- 34 中国経済「大幅減速」は不可避―地方財政に迫る「破綻危機」
- 36 新興国「成長幻想」の終焉―世界経済は「厳冬期」に突入

中国は今後も北朝鮮を「属国」として抱えていけるのか。中東を覆った反独裁の波は、モスクワへ向かい、さらに東へ波及する勢いだ。西からはアジア帰帰の米国が目光する。中朝の独裁維持は容易でなくなった。(6頁)

